

三鷹市立第四中学校 令和5年度【保健体育】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>○昨年度の課題点であった生徒が主体的に考え気付くことができるようにする点は、振り返りカードを活用することが効果的な方法でもあった。今年度も継続して活用しながら、自己の課題に気付かせていく。</p> <p>○安心した学習環境の確保と、個々に応じた段階的な指導や言葉かけを大切にしていけることが、技能の向上につながっていく。</p> <p>この2点を第1学年時に定着させていきたい。</p>	<p>【現状】 ○運動を楽しむ姿が見られ、互いに明るくアドバイスを伝え合いながら取り組むことができる。</p> <p>○運動が得意ではない生徒も一生懸命に取り組む姿勢がある。</p> <p>【課題】 ○授業規律をより定着させていく。</p> <p>○振り返りカードを見ると、自己の課題を具体的に振り返られていない生徒も多く、課題解決に向けた思考力に課題がある。</p> <p>○その場の楽しさに流され、計画性に欠ける部分や、判断力の無さが課題点である。</p>	<p>【指導方法の課題】 ○ICT機器の活用方法を見直す。</p> <p>○学習の振り返りの共有に課題がある。</p> <p>【授業改善策】 ○2学期中に授業規律を定着させ、自分たちで声をかけ合う環境を育む。</p> <p>○年度当初や学習カードに、ねらいやどのように学習を進めていけばよいのか明記してある部分を再度、確認しながら進めていく。</p> <p>○生徒から出た模範的な内容や良い振り返りを、ICT機器等を活用した共有方法を工夫していく。</p>
第2学年	<p>○昨年度の課題点であった対話的な学びと、協働的な学びが深まるように工夫をしていく。</p> <p>○ICT機器を用いて、協働的な学びにつなげ、自己の課題解決に向けた効果的な活用をさせていく。</p>	<p>【現状】 ○体育係だけでなく、周囲からの声かけや、互いに気を配る雰囲気や授業規律に関する事柄を丁寧に指導を重ね定着した。</p> <p>○運動の得意不得意に関わらず一生懸命に取り組んでいる姿が見える。</p> <p>○教師の指示や学習活動に誠実に向き合い、努力する姿勢がある。</p> <p>【課題】 ○授業に誠実に取り組もうとしている生徒が多いが、他者への関わりに対して積極的ではなく、対話的で協働的な学び合いが深まらない。</p> <p>○学習カード等や振り返りの記述の際、具体的に自己の課題を分析して、課題解決に向けた思考をもてない生徒が多い。</p>	<p>【指導方法の課題】 ○球技の際に生じる異性との公平感や充実感を味わわせるチーム編成。また、安全面の確保。</p> <p>○ICT機器の効果的な活用。</p> <p>○個々に対する個別指導の充実。</p> <p>【授業改善策】 ★ペアでの話し合いの機会や、グループ活動を多く取り入れていく。(★三鷹市小中一貫カリキュラムにおける深い学びに対応)</p> <p>○より協働的な学びが深まるように、経験に偏らない種目(ニュースポーツを含む)の設定とルールの工夫。</p> <p>○振り返りの記述例の提示や、書き方の見本となる生徒の提示などをし、より自己の課題の把握と次回への改善策を見つける能力を身に付けさせる。また各自が調べたり、主体的に進められる課題設定をする。</p> <p>○ICT機器を用いて、自己や他者の動作分析や個人、チームの課題把握につながる授業展開を行っていく。</p> <p>○個々に応じた段階的な指導や言葉かけ、練習内容が選択できるような場の設定を行い、個に応じた指導を積極的に行っていく。</p>
第3学年	<p>○昨年度の課題であったICT機器の効果的な利用ができ、自ら課題解決に気づくことができるような指導の工夫をしていく。</p> <p>○自分や自己のチームの課題に自ら気づくことができるような手だてをしていく。</p>	<p>【現状】 ○男女関係なく、ペア間のアドバイスやグループ間の作戦決めなどの話し合いを積極的に行えている。</p> <p>【課題】 ○グループになると話し合いに参加しない生徒が出てくるため、その生徒たちも参加できる手だてを考える必要がある。</p> <p>○自分たちで考え練習を考案したり、新しい作戦を考えたりすることが難しい。</p>	<p>【課題】 ○対話的な学びやICT機器を用いながら、運動量や充足感の確保</p> <p>○体力差・技能差のある生徒がいる中でそれぞれのやりがいを感じることができる授業展開</p> <p>【授業改善策】 ○タブレットを始め、ICT機器を用いながら視覚的に理解や技能の向上につなげる。</p> <p>○球技においては、競技の特性を踏まえて、男女混合のチーム編成で行う単元と、男女別のチーム編成で行う単元に分けて実施する。</p> <p>○今後も、各単元の学習カードにおけるワークシートに、生徒自身の気づきを記入できる欄を設ける。</p> <p>○各単元の振り返りを行わせ、分からないことをそのままにせず、各自が調べて確認をして、知識を定着させる。(★三鷹市小中一貫カリキュラムにおける深い学びに対応)</p> <p>★ペアやグループの対話的な学びを進め、その際には学習カードを参考にさせて、見方・考え方を活用させる。</p>